

気になったから勝手に調べた ブログ 9月号



「月見になぜ団子を食べる？」

お疲れ様です。管理課の村田です。

月見にはなぜ団子なの？白で丸なら「マシュマロ」で良いじゃん！と思うかもしれませんが、ま、何か意味があるかもしれませんので、今回は「お月見と団子の関係」を調べました。

でもメインテーマの前に、少しお月見の歴史を・・・

お月見の起源は中国の「中秋節」だと言われています。日本には平安時代に伝わり、貴族達が月を眺めながら船に乗って、詩を詠む優雅な行事でした。

江戸時代になると庶民の間に広まり、収穫に感謝して団子やすすきを供えるようになりました。北海道ではもち米が育ちにくかったので、「芋」や「かぼちゃ」が供えられていたそうです。

月見に団子の理由？



もともとは収穫した農作物を、そのままの形でお供えしていました。しかし、神様から授かった恵みにひと手間を加えることで、より丁寧に感謝の心を伝えられると考えられるようになり、その結果米を粉にして丸めた団子が作られるようになりました。丸い形は「満月」を表す意味も込められています。さらに、月のパワーを皆で分かち合い、豊作や健康を祈る象徴にもなったのです。

もし当時「砂糖」が広く授けられていたなら、今ごろはマシュマロがお供え物になっていたかもしれませんね～(^^;

団子を食べると美肌になる！かも？

甘い団子を食べると、脳内に幸せホルモンが分泌されストレスが軽減します。ストレスは肌荒れの大敵なので、団子を食べると心が「ほっ」として、結果的に心や体に良い影響があるのかも？しかし、砂糖が使われているので、食べ過ぎは逆効果かも？

「すぐ肌がキレイになる」のではなく、団子は、「美肌に向けた一歩」的な？

古くからお月見が続いているのは、

「実りへの感謝」

「月の美しさ・神秘さを家族や友人と楽しむこと」「学校や地域で大切に伝えられてきた」

など、昔の人たちが大切にしていた気持ちが、今も受け継がれているから、現在まで団子を食べて月を楽しむ習慣が続いているんですね。

次回は

「なぜ体育祭は春へ？時期変更の謎」の予定です。

